

明石市地域自立支援協議会 くしごと部会
令和元年度（2019年度）活動方針（令和元年9月 第1版）

令和元年（2019年）9月26日

令和元年度（2019年度）くしごと部会活動方針（案）

部会長 山崎 正幸
（社会福祉法人 明桜会
サポートセンター曙 センター長）
副部会長 馬場 麻里子
（医療法人社団 東峰会
関西青少年サナトリウム
Small Step なゆた 所長）

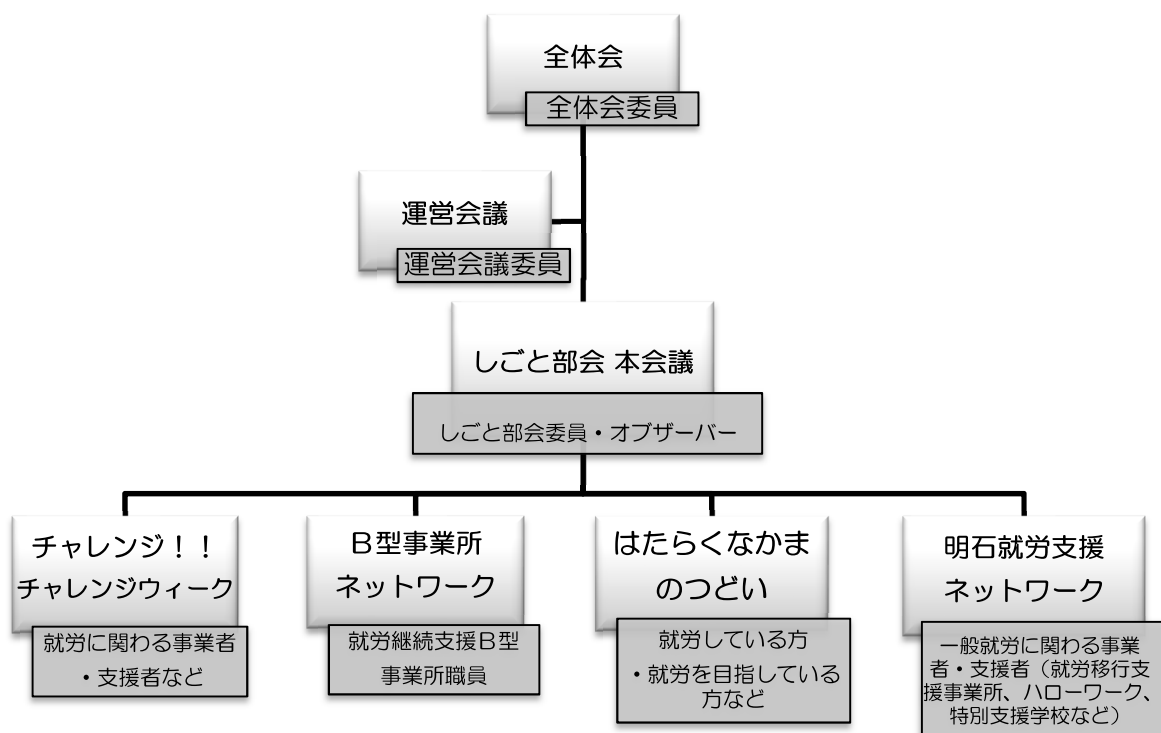
1. 設置目的

- ・くしごと部会>は、明石市地域自立支援協議会の専門部会として、平成26年度（2014年度）の専門部会の改編により発足しました。
- ・障がいの種別にかかわらず、「めざせ就労！」をスローガンに、「明石市第5次障害者計画」における主な課題の解決に向け、顔の見えるネットワークづくりを通して議論をしています。

2. 活動方針

- ・くしごと部会>は、障がいのある方達の「しごと」「はたらくこと」に関するテーマを幅広く取り扱い、現状を把握し、課題の解決に取り組みます。
- ・「明石市第5次障害者計画」のく基本目標6「障害のある人の、生きがいのある社会参加の支援」>を踏まえ、活動に取り組みます。

くしごと部会組織図



3. 本 会 議（委員12名）

- ・障がい種別にかかわらず、障がいのある方達の就労を幅広く捉えるために現状把握や分析を行い、運営会議等への報告・提案をします。
- ・ワーキンググループの設置と承認を行い、各ワーキンググループの方向性やそのための活動のあり方を議論します。

4. 各ワーキング活動方針（案）

（１）チャレンジ！！チャレンジウィーク

- ・明石市第5次障害者計画の施策目標（6-1-3-④ 実習協力企業の確保）に基づき、活動を進めます。
- ・チャレンジ！！チャレンジウィーク（身近な地域（生活圏）で気軽に会社の見学や体験できる仕組み）の実施と協力企業への活動理解と実習先の確保に努めます。

（２）B型事業所ネットワーク

- ・「明石市第5次障害者計画」の施策目標（6-3-1 ②障害のある人の工賃向上への取り組み、自主製品の販路拡大を図る ③事業所などで作られた製品の品質の向上）に基づき、以下の活動に取り組みます。
- ・就労継続支援B型事業所のネットワークづくりを進めながら就労継続支援B型事業所の現状把握や課題の抽出を行います。自主製品の販路拡大、内職のシェアや工賃の向上を目指した活動、支援面での課題把握など、就労継続支援B型事業所に特化した活動を行っていきます。

【 販売活動の促進 】

- ・自主製品の販路拡大のために「コープこうべ大久保での販売」や「きずな（県立高校での販売）」等の活動に取り組みます。
- ・販売活動を通して地域住民との交流を深め、障がいへの理解啓発を促進します。

【 支援員のスキルアップ 】

- ・支援員が実践で活用できる知識や技術の習得・向上を目指して、畠 健太郎先生（プリズムデザインラボ）を講師に迎え、各種講座を開催します。

【 事例検討 】

- ・日々の支援面での課題共有のため、事例検討等を実施します。

（３）はたらくなかまのつどい

- ・就労されている方達、就労を希望される方達のニーズに即した活動や当事者が主体的に参画できる仕組みを検討します。

（４）明石就労支援ネットワーク

- ・「明石市第５次障害者計画」の施策目標（6-1-1-② ハローワークをはじめ、関係機関と連携と就労支援体制の充実 6-1-2-①就労移行支援事業の推進 6-1-3-① 情報交換の場の設置と関係機関と連携 6-2-2-①事業主への障害のある 人の雇用に関する各種助成制度、税制上の優遇措置などの周知）に基づき、以下の活動に取り組みます。
- ・明石市における障害者の一般就労について、具体的に検討するワーキングチームとして位置づけ、明石市第５次障害者計画の実現を念頭に活動する。各機関が有機的な連携を図り、明石市の就労支援力向上を目指します。

【 定例会議・全体会議 】

- ・明石を基盤とする就労支援事業所及び教育機関を中心に年に３回定例会議を実施します。年に１回（10月）労働行政・福祉行政等を交えた、視野の広い会議を実施し全体会議と位置づけます。

【 先進地視察 】

- ・年１回（９月）自立支援協議会として先駆的な取り組みを行っている圏域を視察します。視察先は、しごと部会・圏域ＣＯ・障害福祉課等と相談の上、決定します。

【 あかし就労支援サポートブックの活用 】

- ・当ネットワーク・しごと部会と連携して、あかし就労支援サポートブックの周知を図ります。また、当ネットワーク所属の移行支援事業所の動きなどを近隣の関係機関に周知し、移行から一般就労へという明石の就労体系を構築します。

【 会議や研修会等の企画実施 】

- ・内容等については、ネットワークメンバーで検討します。